

VU通気アルミガラリー取扱説明書

【使用上のご注意】

本製品はVUパイプ専用です。

- 製品を落としたり、ぶつかけたり、施工の際に無理な力を加えて変形させると、塗装がはがれたり、耐久性や性能の劣化の原因になります。梱包開封時に製品に変形等がございましたら、お手数ですが速やかにご連絡下さい。

【取扱い上のご注意】

- 防虫網付製品をご使用の場合は、網の清掃ができる所に取り付けて下さい。
- 網部にほこりなどが付着すると風量低下・異常音発生の原因になりますので、網部のほこり等は定期的に取り除いてください。
- 本体は強い防錆力がありますが、海岸近くなどの塩害の強い地域や塩素ガス・腐食性ガスの発生する所では、錆が発生することがあります。
- 化学薬品を使用する場合には取り付けしないで下さい。また、本体には化学薬品(酸・シンナー等)がかからないように注意して下さい。

【施工上のご注意】

- 腐食の恐れがあります。排水通気には使用しないで下さい。
- 外壁と通気ガラリー、外壁とパイプの隙間に必ずコーキング処理を行って下さい。
- コーキング剤は施工後ひび割れによる隙間を生じないように、酸化性のものを避け、柔軟性を保つものをご使用ください。
- 給気の場合、建物環境、気象状態(風向・風速等)などが過酷な条件である時は、塩ビパイプ(VU)内に雨水が浸入する場合があります。侵入防止対策として、製品の選定を考慮し、塩ビパイプ(VU)の勾配(推奨勾配:1/30)、通気管の長さ(2m以上)、止水板取付、適切な給気量設計(流速を上げすぎないこと)など、状況に応じた施工方法を施して下さい。

施工要領

- 外壁を仕上げ、塩ビパイプ(VU)を外壁仕上がり面で切り、しっかりと固定する。
- 本体差し込み部、塩ビパイプ(VU)に差し込む。

《この時、パッキン(エンビタイト)が正しくセットされているか確認して下さい。右図》
なお、潤滑剤や水等をつけるとスムーズに差し込めます。



- 外壁と通気ガラリー、外壁とパイプの隙間にコーキング剤を充填してください。

